

避難を円滑に行うための対応策①

- PAZ及びUPZ内の住民の車両による避難を円滑に行うため、ヘリコプターからの映像伝送等により道路
- 渋滞を把握し、鹿児島県・関係市町及び県警察による避難車両の誘導や、主要交差点等における交通整理・誘導・規制、「道路情報板」等を活用した広報等の交通対策を行う。

川内地域における交通対策

道路渋滞把握対策

- ・ヘリテレ伝送システムを活用し、道路渋滞の把握を実施

交通誘導対策

- ・避難区域及び外周の主要交差点等における県・市町職員や県警察職員等の交通整理により、円滑な避難誘導を実施

交通広報対策

- ・道路管理者が管理する「道路情報板」及び県警察が管理する「交通情報板」を活用した広報
- ・日本道路交通情報センター（JARTIC）が行うラジオ放送、交通情報提供システム（AMIS）を利用したカーナビへの情報提供による広報

交通規制対策

- ・突発対応型信号機に遠隔介入し、原子力発電所方向への車両等の進入を抑制するほか、混雑発生交差点における信号機操作、混雑エリアでの交通整理・誘導・規制等による円滑な交通流の確保
- ・停電による信号機の滅灯等の事態が発生した場合には、可搬式発動発電機等による応急復旧、警察官による交通規制等により対応

その他

- ・避難経路上の改善を行う等の原子力災害時避難円滑モデル実証事業の成果を活用し、原子力災害時における住民等の避難をより円滑に実施



- 凡例**
- : 交通誘導を行う主な交差点
 - : 道路情報板及び交通情報板設置箇所
 - : 突発対応型信号機設置箇所
 - : 原子力災害時避難円滑化モデル実証事業実施場所